

副作用 Grade 評価表

主な副作用	Grade 1	Grade 2	Grade 3	Grade 4
		身の回り以外の日常生活動作の制限	身の回りの日常生活動作の制限	生命を脅かす 緊急処置を要する
食欲不振	食生活の変化を伴わない食欲低下	顕著な体重減少や栄養失調を伴わない摂食量の変化 経口栄養剤による補充を要する	顕著な体重減少または栄養失調を伴う 静脈内輸液・経管栄養・TPNを要する。	生命を脅かす 緊急処置を要する
悪心	摂食習慣に影響のない食欲低下	顕著な体重減少、脱水または栄養失調を伴わない経口摂取量の減少	カロリーや水分の経口摂取が不十分 経管栄養・TPN・入院を要する	—
嘔吐	24hに1-2エピソードの嘔吐	24hに3-5エピソードの嘔吐	24hに6エピソード以上嘔吐 TPNまたは入院を要する	生命を脅かす 緊急処置を要する
口内炎	症状がない、または軽度の症状 治療を要さない	経口摂取に支障がない中等度の疼痛または潰瘍 食事の変更を要する	高度の疼痛 経口摂取に支障がある	生命を脅かす 緊急処置を要する
味覚異常	味覚の変化はあるが食生活は変わらない	食生活の変化を伴う味覚変化	—	—
下痢	ベースラインと比べて<4回/日の排便回数増加 ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量が軽度増加	ベースラインと比べて4-6回/日の排便回数増加 ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量が中等度増加	ベースラインと比べて7回以上/日の排便回数増加 便失禁・入院を要する ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量が高度増加	生命を脅かす 緊急処置を要する
便秘	不定期または間欠的な症状 便軟化剤・緩下剤・食事の工夫・浣腸を不定期に使用	緩下剤または浣腸の定期的使用を要する持続的な症状	排便を要する頑固な便秘	生命を脅かす 緊急処置を要する
倦怠感	だるさ、または元気がない	だるさ、または元気がない	—	—
疼痛	軽度の疼痛	中等度の疼痛	高度の疼痛	—
皮疹	体表面積の<10%を占める紅色丘疹・膿疱	体表面積の10-30%を占める紅色丘疹・膿疱 社会心理学的な影響を伴う	体表面積の>30%を占める紅色丘疹・膿疱 経口抗菌薬を要する局所の重複感染	静注抗菌薬を要する 紅色丘疹・膿疱 生命を脅かす
爪囲炎	爪襞の浮腫や紅斑 角質の剥脱	疼痛を伴う爪襞の浮腫や紅斑、滲出液や爪の分離を伴う 局所的処置を要する 内服治療を要する	外科的処置や抗菌薬の静脈内投与を要する	—
爪脱落	症状のない爪の剥離 または爪の脱落	爪の剥離または爪の脱落による症状がある	—	—
四肢浮腫	四肢間の差が最も大きく見える部分で、体積または周長の差が5-10% 腫脹または四肢の解剖学的構造が不明瞭になっていることがわかる	四肢間の差が最も大きく見える部分で、体積または周長の差が>10-30% 腫脹または四肢の解剖学的構造が不明瞭になっていることや輪郭の異常容易にわかる 皮膚の皺の消失	体積の差が>30% リンパ漏 解剖学的な輪郭の異常が著明である	—
異常感覚	軽度の感覚変化	中等度の感覚変化	高度の感覚変化	—